

# みやけの風

## 第 99 号

平成14年(2002年)10月19日(土)発行  
 発行:三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者:上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ'10階  
 東京ボランティア・市民活動センター 気付  
 TEL:03-3260-7573 FAX:03-5229-1646  
 E-mail:tokyocenter@cmppo.org

「10月だってのに、晴れるとけっこう蒸すよな」「今年は台風も多いだからな」「日帰りの船もなかなか予定どおりに行かんで、二日も待たされたじよ」「島にいたときゃ欠航も当たり前と思っていたが、こっちにいると予定が立たんで、お客さんたちもこうした大変な思いしながら三宅島に来てくれてただから、今さらながら有り難かったってことだじよな」「本当にな。昼間は暑くても朝夕は冷えるだから、風邪引くなよ」「おうよ。気をつけんべよ」

### みんなの声

10月12日都民ホールで開かれた『三宅島漁協振興シンポジウム』へ参加した夫は、「いいものやるよ」と私にビニール袋を手渡してくれました。

赤と白のさつま芋4本と、あしたばが入っていました。やわらかい緑葉を手にして、ふるさとにふれた思いでした。さっそくごま和えにして賞味。85才の老親は「三宅の人たちがつくったんでしょ。いつか『げんき農場』へ連れてってよね」と。かなわぬ夢ですけど、うれしい気持ちになって、希望をつかんだその一言は、私も心にしみました。

幾多の人の思いがつかまっている農作物だから、エネルギーを感じます。必ずや帰島できる日をめざしてのかけ橋になっているんだなあーと。『げんき農場』で働くみなさんが汗して作った農作物を手にして食して、ほんとうにうれしいお礼の気持ちでいっぱいになりました。

避難生活3年目に入った秋の日に感謝しています。がんばりましょうね。

(台東区 阿古 佐々木 美代子)

この度、足立区区政70周年記念事業区民まつりが10月12、13日の2日間、虹の広場に於いて開催されました。

このまつりに、私たち足立に避難している島民も足立の住民の皆さまに何かお礼ができないかと考えていたところ、浅沼商工会会長より『ゆめ農園』で育てた花鉢を村長さんの取り計らいで800鉢提供してくれるとの話がありましたので、早速島民の皆さんに配布の協力をお願いしましたところ、2日間で延べ50名程参加していただきました。ありがとうございました。なお、足立区に避難している三宅会の一同は、1鉢1鉢を足立の方々にわたすたびに、大きな声で「ありがとうございました！」と声をかけていました。

搬送に協力していただきました守屋農場長、足立社協の方々には、心よりお礼申し上げます。

(足立区に避難している三宅会 池田 金好)

来たる10月20日(日)、練馬まつりが行われます。当日は地元の皆さんのご好意で、三宅島コーナーを設けていただくことになりました。

2張りのテントには、三宅名物の明日葉のテンブラ、島ナゲット(サツマイモをゆでて、油であげたもの)の実演販売、ゆめ農園提供の花弁の展示もあるとのこと。

皆さん、練馬に遊びにきてください。

日 時: 10月20日(日) 10:30~15:30 小雨決行

場 所: 練馬駅北口を出て文化センター横から総合運動場までの区間

三宅コーナーは総合運動場の中です

(練馬三宅会 佐野 徳次)

!!

三宅村では、「みんなで遊ぼう子育て広場」を設け、三宅村保育園の保育士が皆さまにお会いできるのを楽しみに待っています。保育園ではおむつ交換・授乳・休憩スペースも用意していますので、安心してお越しください。

また、子育てに関すること、生活に関することなどの相談コーナーを設け、村役場の保健師が皆さまの不安にお答えします。タガログ語を話せる通訳も

います。気軽にお話する気持ちで、お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

避難生活も長期化しており、忙しい日常に追われ、なかなか島民同士でゆっくりお話をする機会も少なくなってしまうのではないのでしょうか？久しぶりに皆さまで集まって楽しい時間をいっしょに過ごしたいと思います。

皆さまのお越しを心よりお待ちしております。  
(三宅村役場保健福祉課保健係)

10月16日(水)午後6時30分より、シニアワーク東京セミナー室にて、第5回三宅島島民ふれあい集会の島民実行委員会会議が三宅島島民連絡会の呼びかけで開催されました。

三宅村役場職員3名を交え、ブース出展をしてくださる三宅村立小学校、元三宅島

児童生徒支援センターのボランティアや、島民連絡会運営委員も出席され、今回も集会実行委員会事務局を務めさせていただいている三宅島災害・東京ボランティア支援センターに、集会運営やプログラムについてご意見をお寄せいただきました。

ダイジェストでお伝えします。

現在、皆さんの関心が多く寄せられていると思われる「損害保険相談コーナー」を設けてはどうか。

すでに参加を決定しているJAのほか、漁協、損保協会とも調整を進める。当日帰島をされる方々のための配慮が必要。

竹芝行きのバスを出すよりも、会場に集合時間までくつろいで時間をつぶせる場所を用意し、湯茶の接待をする。

午後の体育館プログラムでは、東京都、三宅村それぞれからの報告を受けた後、三宅島島民連絡会として、30分のプログラムを用意する。

雨天の場合の子供たちの遊び場を確保したい。

島民の各避難先での自主活動の発表の場を作ってはどうか。

『島民作品展』の場を大いに活用してください。

三宅島災害・東京ボランティア支援センターでは、寄せられたご意見を受け止め、参加されるすべての方が「来てよかった」と思っていただけのような、集会を目指したいと考えております。また、島民作品展では、日ごろの成果を発表していただこうと会場を前回より広くして、たくさんの方の出展をお待ちしております。